

# 生命はいかに辿るべきか

## 新科学・歴史観シリーズ①

今日ほど我々生活者が、生命や人類とは何なのか、その行く先はどうなるのか？ということを考えさせられる時代はなかったであろう。

毎日のように新聞を騒がせる温暖化問題や遺伝子・生命操作、世界的な感染症の伝播、テロ・難民・飢餓・災害などはどれも事態の深刻さを伝えている。

今や難問山積みの如くである。だが一つ一つの問題を、ある特定の分野に限った専門的な見方では、詳しく事態をつかまえているようで決して全体の抱える問題点をとらえることはできない。

なぜなら、今日の地球的な多くの問題は、生命とか人類の本質や活動と結び付いて起きていることに他ならないからだ。

その点で重要なのは、普通に生活する一般生活者の見解である。

というのはあれこれの専門知識にとらわれない”素人”の一般生活者こそ、最も敏感に問題を感じ、広く見解ををもてるからである。

その点で筆者も、様々な問題に関心があるだけで何の専門家でもなく、一般生活者の一人に過ぎない。

でも本書では、一般人の立場から当然考えるべき、生命や人類の今日の重大な根本問題について、一般の中での議論をもとに必要と思われる考えを明らかにしている。中には斬新かつ大胆な革新的な提起も試みている。

幸い、6年前の均整社の講演をもとにした拙書(「致命的犯罪＝生命操作」文芸社刊)で提起した数々の諸点は、DNA中心論の破綻をはじめ、その多くが次々と当たって驚くほどである。一般人からの提起がいかに重要で科学的な正当性があるかを、改めて痛感し、お陰で今ではそれが不動の確信となった次第である。

### 目次

- 1.生命の宇宙起源と地球的特徴
- 2.生命の本質と自然必然性
- 3.高度な生命活動～その秘密はどこにあるか
- 4.重力の決定的作用と生命の進化
- 5.動的な生命と進化の本質～突然変異自然選択説の大間違い～  
新事実で実証1　ネオダーウィン説を明確に否定！  
新事実で実証2　遺伝子無縁で形質が変わった！
- 6.新事実で見る動的生命論
- 7.生命=動的有機体と生命操作の犯罪性
- 8.人間生命の発展と矛盾
- 9.文明の本質と人類の大恐慌
- 10.新しい歴史観と新生命共同体

(十勝均整社刊 A4版 176頁)